

所管部長等名	建設部長 船藏 満彦
所管課・係名	土木管理課 道路維持係
課長名	楠本研二

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	橋梁長寿命化修繕事業	
会計区分	一般会計			
予算の事業名	橋梁長寿命化修繕事業			
事業コード(大-中-小)	12	01	29	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち		
	施策の大綱(節)【政策】	①うるおいのある快適なまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	①計画的な土地利用の推進		
	具体的な施策と内容	(1)土地利用の適切な誘導		
根拠法令、要綱等	道路法 第16条 第24条			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他( )	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 義務である <input type="radio"/> 義務ではない	
事業期間	開始年度	平成20年度	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	対象橋梁:458橋	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)	従来の事後的な補修・架設替えから、予防的な補修及び計画的な架け替えをすることにより、橋梁の長寿命化並びに、費用の縮減を図り、道路網の安全性・信頼性を確保する。
	内容 (手段、手法等)	橋梁長寿命化修繕事業 対象橋梁……458橋 平成23年度:橋梁補修 N=2橋 平成24年度 橋梁補修 N=3橋 橋梁点検業務委託 N=209橋			
事業開始時点からこれまでの状況変化等	高度経済成長時代のインフラ・道路(橋梁)整備から、今後橋梁の高齢化による維持管理費用の増大が見込まれる。				

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	10,666	25,944	45,600	51,512	51,500	51,500	
	事業費(直接経費)	千円	3,666	18,944	38,600	44,512	44,500	44,500	
	財源内訳	国・県支出金	千円	1,770	7,681	21,230	24,470	24,470	24,470
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円		6,600	11,500	18,000	18,400	18,400
		その他( )	千円						
	一般財源	千円	1,896	4,663	5,870	2,042	1,630	1,630	
概算人件費(正規職員)	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000		
正規職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
臨時職員等従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①								
②									

(記述欄)※数値化できない場合

本事業は、橋梁が存在する限り維持管理する必要があることか、効果の数値化は不向きである。  
橋梁長寿命化計画にある129橋の適切な管理及び予防補修を行うことで、橋梁の長寿命化と安全性を確保する。

**(Check) 事務事業の自己評価**

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 本市における橋梁は、1970年から80年代の高度経済成長時代に架 設された橋梁が多く、今後高齢化と共に、老朽化が急速に進むこと が予想される。また、東日本大震災以降、緊急輸送道路等の確保に おける道路(橋梁)の重要性が認識されている。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A (現状分析等) 現在橋梁長寿命化修繕事業において、橋長15m以上の橋梁(橋梁 数129橋)の計画を策定しているが、平成25年度までに重要性等を 考慮し、458橋を策定予定である。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) 道路法により道路管理者は、道路(橋梁)を常時良好な状態に保つ よう維持・修繕し一般交通に支障を及ぼさないよう努めることとなっ ている。また市が管理する橋梁においては、橋梁数が多く、広範囲 に設置してあることから市による実施が適当である。市が管理する 道路(橋梁)は不特定多数の方が利用するものであり、受益者負担 の考えはなじまない。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

**(Action) 事務事業の方向性と改革改善**

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 道路法により道路管理者は、道路(橋梁)を常時良好な状態に保つよう維持・修繕し一般交通 に支障を及ぼさないよう努めることとなり、市による実施が適当である。																					
改革改善内容	<b>今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果</b> 橋梁長寿命化修繕事業に伴い橋梁台帳システムを導入することで、橋梁の点検結果を蓄 積し、効率的・継続的な維持管理を行う。 橋梁長寿命化修繕計画による予防的な修繕を行うことで延命化を図り、橋梁の修繕、架替 えに係わる費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	<b>改革改善による期待成果</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------